



本日のトピックス

## 賃金改善に係る具体的回答を引き出すべく 引き続き会社に強く求める！！

本部は、要求書提出以降、各要求事項の実現に向けて交渉を積み重ねているが、賃金改善に関して会社は、次年度の事業計画とその後の見通しが厳しいことを理由に、「応じることは極めて難しいが要求趣旨等をふまえて検討する」との回答に終始してきた経緯にある。

そして本日の交渉の場において、会社は、「かんぽ商品の販売が大きく落ち込む見通しに伴って、かんぽ生命から日本郵便への委託手数料が大幅に減少する可能性がある。そうした中で検討した結果として、定期昇給については、今後、会社全体の生産性を高める観点から、そのあり方について労使で協議していくことを前提に、今年度は実施したい」との考えを示してきた。

一方、その他の賃金改善に関する要求事項については、「とりわけ厳しい日本郵便の金融窓口事業の営業損益見通しをふまえるとともに、現場のモチベーション等への影響も考慮するなど、引き続き慎重に検討していきたい」としている。

本部は、組合員の生活を守っていくためには、日本郵政グループの安定的な持続性の確保が不可欠であると考えており、現実的に、主要三事業の見通しは厳しい状況にあると認識している。

しかし、お客さまからの信頼回復は、厳しく難しい営業環境の中でも、地道に懸命に適正営業等に取り組んできた現場組合員が、我が事として、真摯にお客さまと向き合っていくことによってこそ成就する。そうした中で、今後あまたの困難を乗り越え、日本郵政グループの起死回生をはかる当事者であり、その原動力とならなければならない現場組合員へのメッセージとして、賃金改善要求への回答は極めて重要。

本部は、そうした主張を積み重ね、具体的な回答を示すよう引き続き会社に強く求めていく。

春闘情報はJP労組HP組合員専用サイトからご確認ください。⇒  
メールマガジンも登録しよう！



(担当：山田)